

目次

- ・ さいたま水上公園再整備事業に係る
「樹林地」活用に関する追加サウンディング
説明資料

- ・ さいたま水上公園再整備事業に係る
「樹林地」活用に関する追加サウンディング
説明資料

平成29年度

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム サウンディング

さいたま水上公園再整備事業に係る「樹林地」活用に関する追加サウンディング

説明資料



平成30年2月2日（金）

埼玉県 都市整備部 公園スタジアム課

《資料内容》

1. 公園と関連施設の概要
2. 事業対象地の概要・基本情報
3. さいたま水上公園の位置について
4. さいたま水上公園再整備にあたっての考え方
5. 再整備のベース
【さいたま水上公園のあり方検討委員会(平成27年度)】
6. さいたま水上公園再整備イメージ
7. 県政サポーターによるアンケート結果
8. サウンディングの実施状況（平成29年11月下旬）
9. 追加サウンディングの概要
10. 今後の事業の流れ

1. 公園と関連施設の概要 (グーグルアース)

全体	37.1ha
公園東側エリア	24.0ha(ハッチ部分)
うち 事業対象区域	21.5ha(黄枠部除く)
うち「樹林地」区域	10.4ha



【説明会場所】
スポーツ総合センター
スポーツ・レクリエーション・研修・会議・宿泊

武道館

アイスアリーナ

上尾運動公園

さいたま水上公園

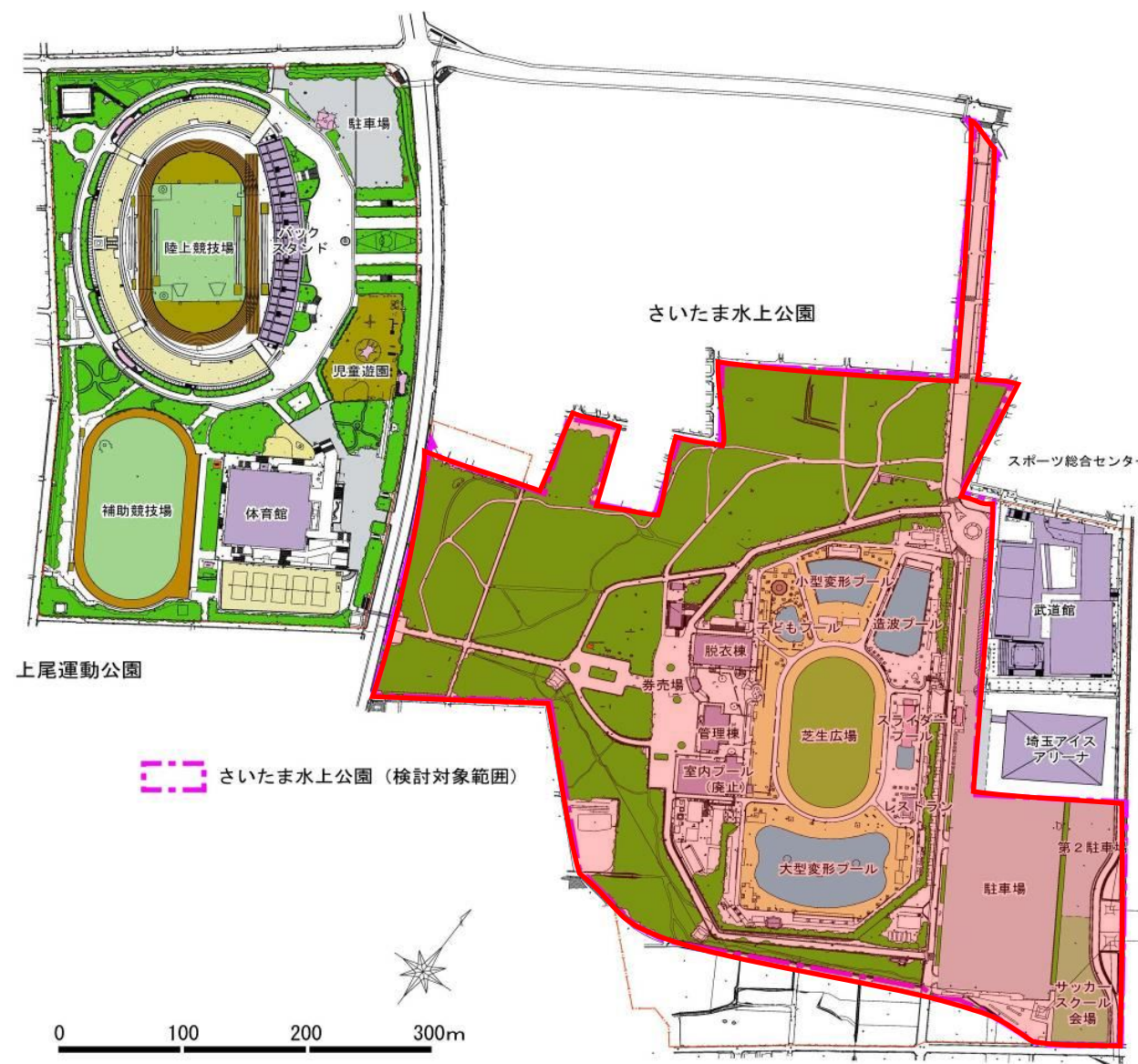
国道170号

本公園内には緑濃い樹林地が広がり、都市に貴重な緑地空間が形成されております。

Google

2. 事業対象地の概要・基本情報

2-1 事業対象区域



【事業対象区域面積】

上尾運動公園全体（都市公園）	37.1ha
検討対象区域（公園東側エリア）	24.0ha
■さいたま水上公園	21.5ha
・プール施設	6.6ha
・雑木林	10.4ha
・駐車場	4.5ha
■武道館	1.6ha
■アイスアリーナ	0.9ha

※上尾運動公園西側施設（陸上競技場、体育館等）との利用連携は可能です。

【土地利用情報】

項目	内容
所在地	埼玉県上尾市日の出地内
都市施設	都市計画公園（埼玉県営）
区域区分	市街化区域、一部市街化調整区域
地域地区	指定無し
用途地域	指定無し
建蔽率	12%（都市公園法による規定）
容積率	100%

2. 事業対象地の概要・基本情報

2-2 各施設の利用状況

さいたま水上公園を含む上尾運動公園内有料施設の、直近4箇年の施設別利用者数は下表のとおりです。陸上競技場や体育館を除き、各施設の利用数が減少傾向にあります。

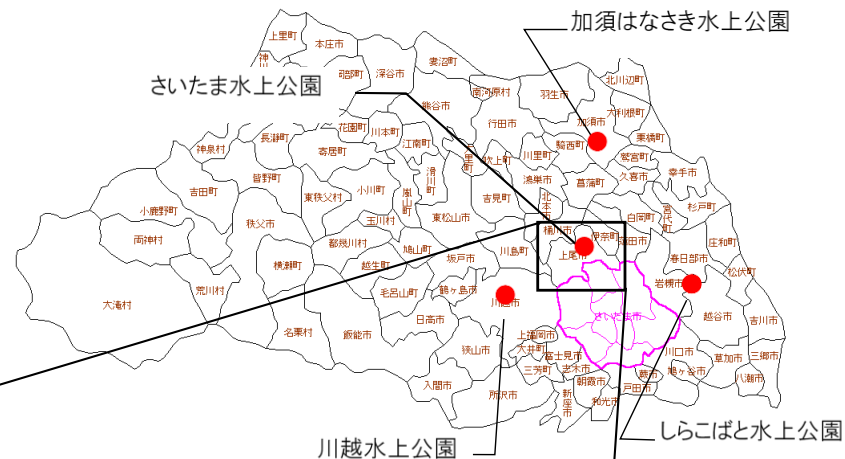
施設名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	
夏季プール	—	104,636人	—	85,715人	—	81,935人	—	72,509人	7/9～10、7/16～8/31に営業 平成24年度から流水プール 営業中止
駐車場	25,388台	—	21,760台	—	21,892台	—	19,640台	—	7/9～10、7/16～8/31に営業
室内プール	—	20,532人	—	17,802人	—	—	—	—	平成27年度から営業中止
陸上競技場	405件	127,734人	437件	144,221人	477件	148,958人	509件	148,424人	補助競技場含む
体育館	1,167件	93,734人	1,079件	102,661人	1,235面	113,272人	1,026件	106,929人	
テニス場	2,939面	22,924人	2,790面	17,680人	2,954面	17,744人	2,553件	13,758人	
計		369,560人		368,079人		361,909人		341,620人	

3. さいたま水上公園の位置について(広域道路網)



3. さいたま水上公園の位置について(公共交通)

最寄駅は、JR高崎線 上尾駅。
ニューシャトルは丸山、沼南、原市の
各駅となります。



JR高崎線 上尾駅

大宮駅から2駅(8分)

※上尾駅から約2km

徒歩 約25分

バスと徒歩 約15分



4. さいたま水上公園再整備にあたっての考え方

4-1 実施の背景

《さいたま水上公園の現状》

- さいたま水上公園は開設から46年が経過し、施設の老朽化が著しく進展
- 県民のレジャーニーズの多様化等により利用者数が大幅に減少
- レジャープールに替わる新たな賑わい施設を有する公園への再整備を検討

4-2 再整備に向けた基本的考え方

平成27年度「さいたま水上公園のあり方検討委員会」（県HP参照）が示した方針を踏まえる

《留意点》

- ・基礎となる考え方であり、この方針の中で読み込むことができないと思われる事業を再整備事業として提案できないというものではありません。
- ・都市公園法で設置できるとされている施設は、再整備事業として提案可能です。



《整備手法及び運営の考え方》

- 公園施設の整備や維持管理・運営については、設置管理許可制度を基軸にPPP等民間活力を導入
- 民間企業の新たなビジネスモデルの形成や県民への提供サービスの質の向上を目指す

5. 再整備のベース【さいたま水上公園のあり方検討委員会(平成27年度)】

平成27年度に有識者4名からなる「さいたま水上公園のあり方検討委員会」を立ち上げ、さいたま水上公園の今後のあり方をとりまとめました。

5-1 新たな公園の方向性

“様々な世代が、緑豊かな風景の中で集い・交流し、健康を育む公園”

5-2 新たな公園に求められる4つの主要機能

“健康づくり”

- 自由に利用できるフレキシブルなフロアで、健康づくり機能を充実
- 芝生広場や樹林地で多世代が楽しめる健康づくり機能を充実

“軽スポーツ・レクリエーション”

- 健康づくり・スポーツ機能を充実
- 親水機能を継承（さいたま水上公園のレガシー）

“リラクゼーション・癒し”

- 感性を豊かにする癒し空間を演出
- 食、リラックス空間を提供し、健康づくり機能を充実

“子育て支援”

- ファミリー層のニーズに応える魅力的機能を導入
- 快適な樹林環境へ転換し、体験・学習、子育て支援の場として活用

5-3 さいたま水上公園のあり方

- 施設や屋外を活用した様々な健康プログラムの実施
- 四季を通じて楽しめる親水機能を導入
- 健康づくり・スポーツの拠点として機能を強化
- 子育て世代のファミリーが自由に遊べる広場を整備
- 心を癒し都市を彩る花やみどりによる感性の高い景観を創出・活用
- 野外活動・遊び場等として樹林地を活用

5. 再整備のベース【さいたま水上公園のあり方検討委員会(平成27年度)】

5-4 公園のあり方展開イメージ(ストーリー)

『健康プログラム活動やくつろぎのイメージ』

毎日がウェルネス：“健康をテーマとした「食」や様々な「運動プログラム」による特色のあるサービスを展開”



『季節の移ろいを五感で感じる癒しのイメージ』

全ての人を楽しみ、参加する：“木漏れ日の「ヨガ教室」と「ノルディックウォーキング」、公園の四季を彩る「ガーデニング活動」や写真撮影など、利用者が思い思いの交流を展開”



『時を忘れ家族・友人と楽しむにぎわいのイメージ』

水が織り成すエンターテイメント：“夏場のにぎわいを演出、イベント時には噴水の水の動き・光・音を合わせた優美さ等を四季に合わせ展開”



『偉大な大樹とのふれあい、たおやかな木々に包まれたやすらぎのイメージ』

緑の継承と活用：“大樹の回廊でゆったりとした時間を過ごす森林浴や、自然の偉大さ、一体感を感じるアクティビティ、市街の森の中で人と自然の共生を展開”



6. さいたま水上公園再整備イメージ

平成28年度に実施した民間企業へのヒアリング結果（意見）を基に、あり方検討委員会で示された4つの主要機能に照らした賑わい施設の整備イメージを作成しました。

“健康づくり”

“軽スポーツ・レクリエーション”

“リラクゼーション・癒し”

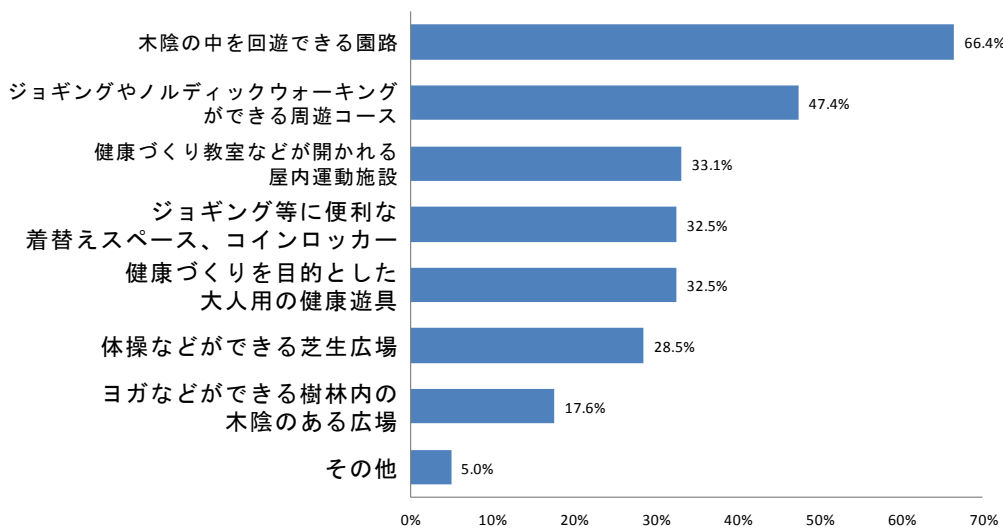
“子育て支援”



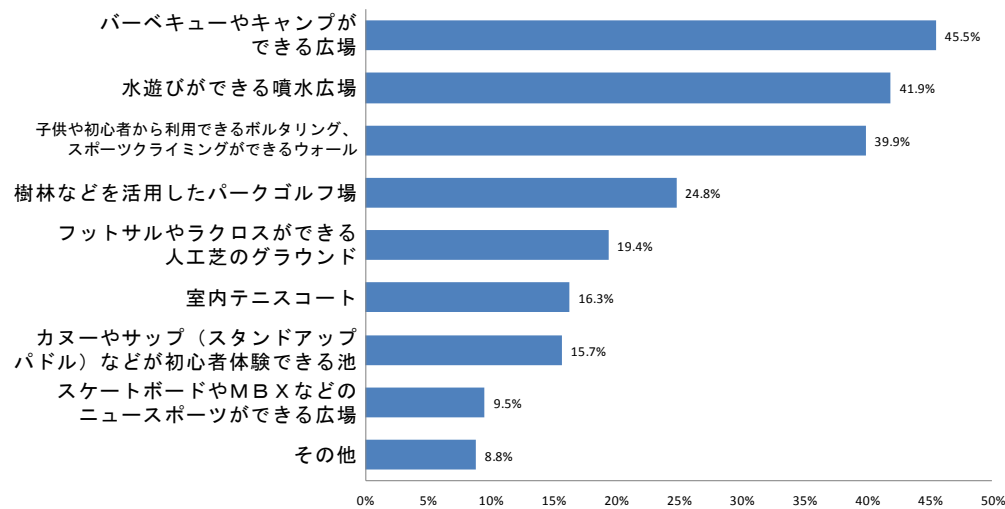
7. 県政サポーターによるアンケート結果(第115回(簡易)アンケート)

昨年10月に実施したアンケート「上尾運動公園(さいたま水上公園)のリニューアルについて」(回収数2,002名)では、民間事業者による公園運営に対して9割弱の方が賛成と回答しており、官民連携に期待が寄せられています。また、本公園に求められる4つの主要機能に関して利用したい施設は以下のとおりとなっています。

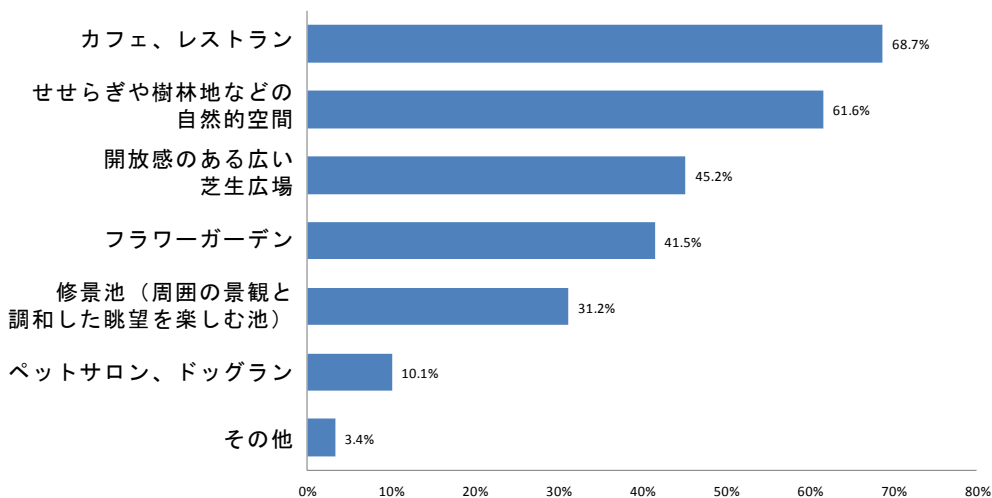
“健康づくり”に関して利用したい施設



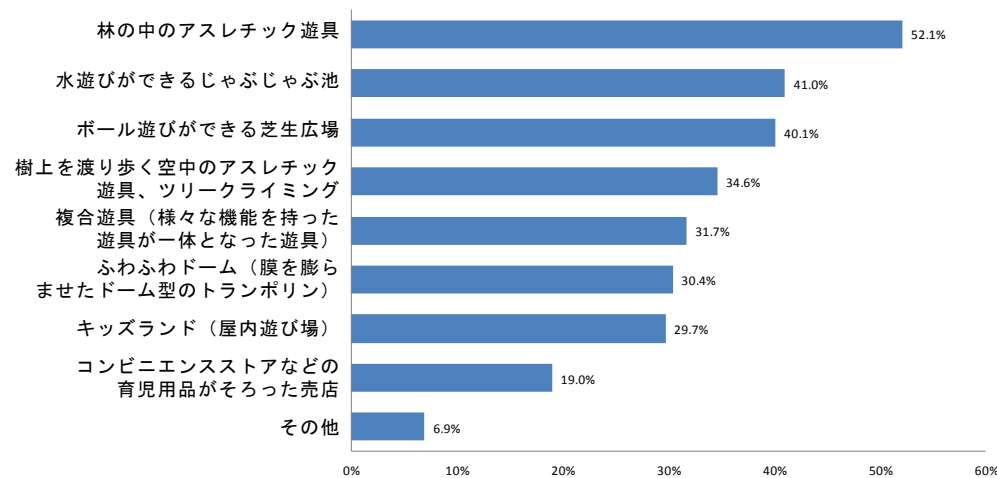
“軽スポーツ・レクリエーション”に関して利用したい施設



“リラクゼーション・癒し”に関して利用したい施設



“子育て支援”に関して利用したい施設



8. サウンディングの実施状況（平成29年11月下旬）

6-2 サウンディングの結果

【実施状況】

項目	実施日
個別対話の実施（終了）	平成29年11月20日（月）～12月1日（金）
対話の実施結果概要の公表	平成30年1月下旬予定

24社がサウンディングに参加

投資意欲のある企業の存在や、
今後も継続的な対話を希望する民間企業を確認することができました。

【明確となった課題】

- 事業規模が大きいことから、共同企業体（コンソーシアム）が前提。
- 中核となる企業の事業理念やコンセプトに共感できる企業間連携に時間を要する。
- 樹林地の活用について、負担とを感じる企業がある。

9. 追加サウンディングの概要



樹林地の活用を幅広く検討する

事業発案時の官民対話として、公園全体の活用について平成29年11月下旬に県独自にサウンディング調査を実施し、24社と対話を実施しました。

今回、さらに当公園の魅力の一つである「樹林地」の活用に絞り、幅広くアイデアを募ることを目的に当プラットフォームにおいて、追加サウンディングを実施します。追加サウンディングの結果を踏まえ、企業間のマッチングに生かしていきます。



樹林地の状況

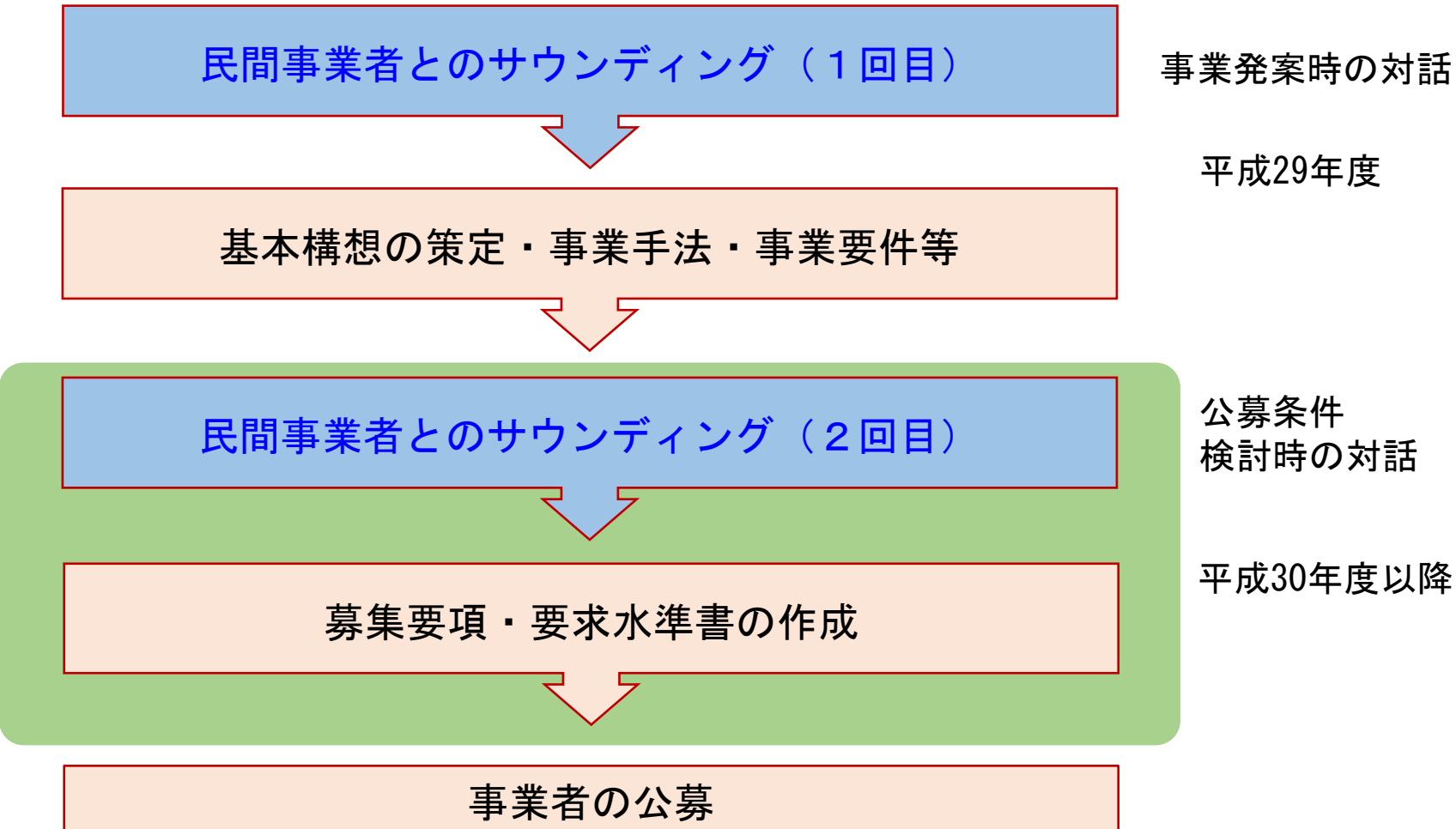


樹林地活用についての対話（活用イメージ）

- BBQ場、グランピング
- ドッグラン
- アスレチック、ジップライン、空中アスレチック
- 体験学習、企業研修 等

10. 今後の事業の流れ

本公園の再整備は、都市公園法による設置管理許可制度の積極的な導入を想定しています。再整備事業を円滑かつ効果的に進めて行くには、県と事業者双方にメリットのある事業要件の設定が重要と考えています。今後もサウンディングなどを通して、民間事業者の方々のご意見を伺わせていただく予定です。



新たなビジネスフィールドとして、 緑豊かなさいたま水上公園を活用してみませんか！



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

本日以降のご質問は、
下記にお問い合わせください。

送付先：埼玉県 都市整備部 公園スタジアム課
公園計画・事業担当

E-mail：a5400-06@pref.saitama.lg.jp（代表）